# 今日の献立 (3)

平保健所榮養指導員　成田君子

つくね煮

鰯 七〇瓦　普通二匹半
片栗粉三瓦　〇、八匁
油　七瓦　約一、八匁
大根、人參少々
豆腐たん白質一一瓦溫量一七九カロリー

調理法　鰯は鰓及不潔分を取除き、骨と身を別々にたゝき摺り片栗粉を加へ更に摺り丸めて油で揚げ、砂糖、醤油で煮付ける、人參大根は卸して酢、砂糖で味をつけ酢の物とする

筍飯と素麺の澄汁

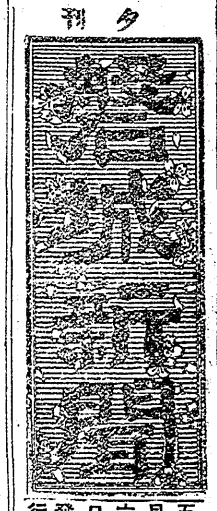
筍一〇〇瓦　約二七匁
油揚三〇瓦　一枚半
はせ佃煮五瓦　約一、三匁
素麺一〇瓦　三十本位
三ツ葉一〇瓦　五本位
油　三瓦　〇、八匁
許たん白質一一、三瓦溫量一九〇カロリー

調理法　筍は小さくうすく切り油揚は細切として二品を油で炒め、煮出汁で煮て、砂糖、醤ゆにて味をつける、筍の煮汁に醤ゆ、鹽（酒を少量加へれば尚可）を加へ水加減して御飯を炊き出來上つたら筍をまぜる御飯を盛りはせの佃煮を中央にのせる、素麺は煮出汁にて煮て、鹽、醤ゆにて味をつけ三ツ葉を加へて澄汁を作る、（素麺は茹ですでに入れる）

## 天氣豫報

小名浜測候所製表

今朝　北の風晴
明日　南西の風晴
後曇



五月六日發行
定價 金六錢 郵稅 金五錢
東京電話 日曜祭日 一〇六五五八番

# 磐城の獅子舞研究 (去)

山口彌一郎

それよりやしし外に出て中しし中へはいりて又頭方にておたまを横に振りさがし、それよりをしは右の花笠の中へはいり中ししは外へ廻り、又頭方にて頭を振りさがし、それよりをしは外へ出て中ししは中へはいり、かしらを合せ其時の勝風にかすみを吹き拂ひて、そこでめしこかせまうれしこな

此の時めしこが舞ひ出す中ししの處へ嬉しくかけより、をしとその時中ししの太鼓の音に驚き中ししのそばへにゐ行きかしらを合せ、又笠のところへ舞ひ行きせぎもてばちを合せかしらを合すそれより左の花かさを廻り距を合す次に花かさの中へ舞ひ込みせぎりてゐみ合となる、花かさの中にてをゝ合ひ左へ行き、花かさの中間にて手の組み方をかへ、花かさの外へ出て又左へ行き右に行き花がさの眞中でをゝ合ひしてをししまけを、ししし、をししの息を内より見手をがへ外より見てもしし口そばへ行く、又再ひをししの息を見て力敬をうつて歸る。

をゝ中ししの太鼓の音に息を返へ一靜に身を起しかし前を二回往來しせぎりてバチを合てかしらを合す。次に花かさ廻り次に花笠の中に舞ひ込みばちを返へして後命に舞ひ行き、中しゝにかゝも中しゝ共バチを返して段々と花笠の中に來り　左右へ二回往來、めしゝ中しゝをばなかにして段々と外へきわし行く。花笠の外に廻り左右へ二回往來し中程にておし引きせぎ段々とはなれをしゝめしゝのところへ行、中しゝをゝしの太鼓の音に驚きバチを返へ鄭りのなかに立つて動く影に黒いし、テーブルの上の札を見詰めてゐるいろいろの人間の顔は、假面のやうに硬ばつて、目も異様に光らしてゐるのを見當るのであ

勝つた者はよろこび、負者を手ふ人間の顔を傍から見ゐると、何とも淺ましいかぎりもせのだ。

『お前さん』

お樂は血眼になつて勝負をやつてゐる卓から離れた部屋の隅の黒壇の寢椅子のところへ、專藏がノツソリ歩み寄つて行つたものだから、しろから聲をかけ。

『ぐてんすの？　お前さん……』　チラと脇の卓を目返つた。

振返つて專藏の氣

顔付をしてゐる。

『ふむ』

と、返事にも力がこもらない。

『どうしたの？　折角來ゥていいふのに……一勝負だけでもやつたら……』

『わしはいゝ、お前、三五郎と一緒にりてやれ——ホラ、三五郎元手だ』

ポケットから財布を取出すと、ザラザラおはまがに金貨を掴み出して、二人の手へ握らした。

『へゝへ、有難うござんす』

『それぢや、やつて來るよ、お前さんもやればいゝのに……』

と、お樂は、なほ心殘りしく見返つてゐたが、そで三五郎とかたぎならと、卓の方へ所付いた。

ぶつぶつ言ひながらも、ぶつぶつ言ひながらも、ぶつぶつ言ひながらも、

# 防空陣に警視課長

## 本縣も新設候補に入る

縣下の警防陣は久和警部を首腦として獨立の一部門を設定し、寸分弛み無き將來の活躍を期待されてゐるが警防團の組織化に伴ひ警防、防空事務が益々繁雜を加ふると云ふ見地から從來に於ける大都市及び福岡、廣島兩市の外昨五日の閣議で新に防空課長(警視)八名と警部三十九名を置くことに決定した候補地一道十二縣中に本縣も加はつて居り右は近く官制公布と共に內務省より發令されることになつた

# 第一の十六ミリ

## 愈々機械着荷近く試寫

兒童持ち寄りの古新聞紙賣備完成を待ち之を參照して却代を資金とした市內各小映寫場の準備その他に乘り學校の十六ミリ映寫機購入計畫中、第一小學校の分は朝報小田氏の寄附によつて俄かに資金が充實し注文の機械も既に到著したので近會は縣社會課主催で六、七く映寫場(講堂)に遮光設備兩日第三小學校に開き受講の上適當のフヰルムを購入し愈々待望の試寫に參職員兒童を歡喜せしむる段取りとなつたが第三小學校にも大体初期の資金造成に近づきつゝあるので、第一の般

# 保育事業講習

牛地方の季節保育事業講習會は縣社會課主催で六、七兩日第三小學校に開き受講者九十余名に上つた

△保育所經營(社會事業主事中山良男)△唱歌遊戯(倉津高女教諭菊地ヨ、磐城高女教諭田中金三朗)

# 鐵の如く強かれし

## 昨夜第三で目と耳から衛生思想喚起

# 健康週間

兒童愛護、健康週間中の平市の行事たる「衛生の夕」は昨夜七時から第三小學校講堂に開き、四家市社會課長の開會辭に次ぎ本田署長は週間の意義、傳染病(特に乳幼兒に多い疫痢)豫防について話し、大須賀縣衛生課長は週間の目的、東亞新秩序建設と大陸雄飛から貯蓄奬勵、更に國民の健康狀態を物語る壽命の短いこと、結核乳幼兒死亡率は世界一、本縣の花柳病は何と東北一であるとこの不名譽な姿ぶちまけ聽衆の衛生觀念を喚起

乳幼兒に多い疫痢の徵候、手當法等を示し、終つて醫報プロによる映畫を寫し目と耳から大いに『先づ健康を吹き込んで十時近く散會

# 農會技術員設置助成

平市並に石城郡下町村に對する農會技術員設置國庫助成命制當左の如く決定

(平市)三二六圓(郡部)渡邊一六〇、植田二四〇、錦五三、勿來一六〇、上遠野二一二、豊間二〇〇、玉川二四〇、內郷二四〇、好間一三六、永戸箕輪二〇〇、澤渡三阪一六〇

# 河川統制視察

內務省中小河川主任坂上技師は十日來郡、翌十一日夏井川、四倉港、翌十二日江名小名濱港、鮫川、蛭田川を視察、將來に於ける事業計畫の參考に資する

尙去る二日は內務省海川統制の主任水谷技師が河川統制關係の視察調査のため來郡、鮫川利用の東

# 颯爽たり『健康圖繪』

## 十四日平商で体操大會

市內中小學生六千三百余名時動員した第二回平市体操大會は十四日午前九時から平商グラウンドに擧行するので九日午後零時半から豫行体操を行ふ、參加は四小學、磐中、磐女、片倉女子青年、佑賢、青年藤田、平陽

種目左の如く昨年に較べて新味は薙力、タンブリング小學兒の器械体操である

男兒合同体操(女兒)愛國行進曲、おぼろ月夜、小學全生徒大行進、片倉生徒工場体そう、男子中等小學有志器械体そう、女學生薙力術、男子中小學生蹴試合、磐中タンブリング、女學生遊戯、男子中等生建國体そう

# 補充兵教育

平市の未入營補充兵訓練は明七日午後一時から平商校庭で實行、今後は毎土曜日午後一

# 一杯機嫌であの世へ

## 荷馬車挽の奇禍

赤井村日渡荷馬車挽業柏原清次郎(四)は一杯機嫌で四日午前十一時頃自分の荷馬車に乘り同村團子田地內林道を通行中車上から轉落、頸部を轢かれて即死

# 四十二萬圓突破

## 去月來平局で買出し中

平局の國債消化額であつた第八回事變國債は愈〻今六日を以て打ち切つたが割當て五萬四千圓中昨五日迄に十圓券二十六枚、二十五圓券二十三枚を殘して、五萬二千九十圓を消化し一昨年來の同局消化高は實に四十三萬六千百四十五圓の巨額に上つた。尙は手近な今回の例・徵して高額券が比較的ハケが良く、前記小額券の賣れ殘りに對し高額券は却つて不足を來し昨五日同局から六千圓の追加を申し込んだ程である

# 例年より早目か

## 地方の田植え

豫想

地方の苗代は過般來適順な二十七、八度の間に行はれ天候に惠まれ大体好調に推て來たが耕種改善の意味から移しつゝある。例年植ゑつけは場所によつて深速があるが今年は之れよりも幾分良いけは場所によつて深速があるが今年は之れよりも幾分良いり、殊に中間部の如き冷害防止の早期植ゑつけが行はれ一般は來月十八日頃から

# 所得調査會

明後八日より開催

改選第一次の平稅務署所轄內第三種所得調査會は明後八日午前十時から同署樓上に於て開催されるが會期は約十日間位の見込みで中旬迄には大体終了するではないかと

(調査委員)野崎滿藏、近藤吉松、青天目信次郎、渡邊貴一、柏原幸次郎、小野晋平、阿部政右衛門

利用しての將來の施設は大きい

# 愛は罪つくり

## その一

錦村昭和人絹女工某(二)は一日晝二時頃誰もゐない女工寄宿舍に入つて同僚下石タケ(七)のトランクから現金十五圓を失敬したこと發覺六日植田署に擧げられた、同人は目出度く愛人との實が結んで近くうれしい愛の巢を營むことになつたが出入の商人に借金があり、このことで折角築き上げた「愛のねぐら」に破滅を來すやうなことがあつては、と淺はかな女心からつい邪心が出たもの

## その二

昨報、女と共に植田町しのぶや旅館に投宿中を植田署に擧げられた自稱東京市本所區長崎町半島生れ今村政市こと張鳩玉(三六)は實は川崎市幸町六郷提土木請負業富井清吉方で日本名武本淺次郎といつて昨年九月から働いてゐたものだが馴染の同市古川通りカフエーみつい方女給佐藤光子(二三)と一緒になりたいばかりに去月二十五日夜主人の三組洋服、時計其他八十余圓をチヨロマかし女に前借三百圓を踏ませて高飛び、涼しい顔でゐたものと判つた

# 全國女教員會出席

## 市・郡部會から五名決定

全國女教員大會は來る十三日より三日間仙臺市北一番町仙臺簡易保險支局に於て開催、銃後の初等教育に就て大に眞劍な再檢討を試むる筈であるが市・郡教育會からは左記の通り出席することになつた

(市部會第一)瀧羽きよ

(第二)野村よしの(第三)鈴木みゑ(郡部會飯野)松田きよ(高坂)小野しま

尙は來月十七、八兩日に亘る十日出發赴任の豫定である

# 菊地課長出發

今回の異動で平稅務署間稅課長より秋田同上に榮轉した菊地胤治氏は本署在任三年七ケ月其間地方の酒造改善等の指導に任じ管內當業者の信望厚かつた人である。來倉は來月十七、八兩日に亘る十日出發赴任の豫定である

# 優勝旗を獲得した

## 諸兄の喜びを想ふ

市內甲町出身　篠原善治君(信)

謹啓永らく御無音に打ち過ぎ失禮仕りました。其後健勝に亘らせられ居る御事と氣旺盛に働いて居ますれば御安心下さい。

友人よりのお便りによれば、愈々御多忙にて日夜御奮闘致され居る旨と存じ、御心勞の程推察致され居る旨と存じ、御心勞の程推察致されまして誠に感謝優勝されし由誠に名譽な事と存じます。

乳幼兒に多い疫痢の徵候、手當法等を示し、終つて醫報プロによる映畫を寫し目と耳から大いに『先づ健康をふき込んで十時近く散會

# 中陣を聽く

(390)

# 聖戰に邁進

市內出身　石田儀一郎君

拜啓寒暖の候と相成り凌ぎ難き時節となりました。其後は意外なる御無音に打過ぎ誠に申し譯御座いません。降つて私事も昨夏征旅に就てより武漢三鎭攻略に參加致し元氣で働きましたが今は當地の警備に就き聖戰の目的貫徹に出來る限り努力致す覺悟で御座います、留守中は色々御世話に相成り有難く御禮申し上げます。

書籍賣立會　東京市芝區田村町益城正也氏主催書籍賣立會を九、十兩日市公會堂日本間

急激に暑くなるとは土民の言葉です。

連日殘敵共がダム彈を擊ち寄越しますが今では私共相當馴れて來て何ども感じなくなりました(略)御健祥を遙かに祈り上げ失禮致します。

# 例年より早目か

## 地方の田植え

豫想

地方の苗代は過般來適順な二十七、八度の間に行はれ天候に惠まれ大体好調に推て來たが耕種改善の意味から移しつゝある。例年植ゑつけは場所によつて深速があるが今年は之れよりも幾分良いけは場所によつて深速があるが今年は之れよりも幾分良いり、殊に中間部の如き冷害防止の早期植ゑつけが行はれ一般は來月十八日頃から

# 時計メカネ平時ネモトへ


(金銀時價買入マス)

# 愛大三

電話下谷(六七七)番

東京上野廣小路前郵便局横通角

私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります

主人　比佐棟雄

實株は買ッテ御手元へ

必ズ儲カル優良株

投資指針

平市四丁目三十三

富岡株式店

電話二五八

病室・手術室完備

產婦人科　醫學博士　五十嵐雄二

(物理療法科併置)　(入院隨時)

平市新川町(電話三六九番)

稻荷丸　皇漢オルモン藥

◆腹痛……には三粒デキキマス

◆胃痙攣……ムナサキ痛みには奇妙ニキキ

◆小兒の諸病……一日三回のませて見れば靈妙な作用で健康体となる

◆心臟病……少しの運動にもキキ切れドウキの高い方御實驗下さい

◆自動車醉……ニハ乘車前十分位ニ三粒服用セバヨイマセン

◆肺炎……一粒腹中に入れば心臟を强め精力活力を增加す

定價　四十五粒一壹圓　二百七拾粒　五百五拾粒　貳圓五十錢　五圓

——代理店——

平市古銀治町一〇(縣社下)

阿康藥局

電話四十四話

振替東京三〇〇六五番

茨城縣笠間町(稻荷神社前)

イナリ丸　本舗　金子製藥所

(有名藥局にあり)

女中さん

至急雇入たし

給料其他委細面談

旅費、實費支給ス

姓名在社

外科一般

內臟外科

肛門病科

皮膚科　專門

泌尿器科(婦人科)

生殖器科(性病科)

平市字鎌田町

白土醫院

電二七九

(入院隨意)

日本精神世界の誇

修養の量華道專一

特設作法煎茶式教授

毎週木曜日午前中

場所平市田町五十番地(市役所西側)

『入門歡迎』

家元池坊生花教授

日本禮道煎茶式師範

先崎翠峯

自宅平市田町五十番地

◇出稽古も御希望に應じます

裁判定應撰

東京市本郷區湯島四丁目

高島易斷總本部神誠館

▲一白　殺氣充ちて時に或は口論を生ずることあり▲二黑　手心掛け引きの六ケ敷き日商事は殊に給

七日

(小名濱測候所發表)

滿潮　後六、〇五　午前一一、〇五

干潮　後一〇、四五

八日

滿潮　後六、三五　午前四、一五

干潮　後一一、四五

藤日曜　新五月　甲辰　友引　七日

三月十八日　閉　虛宿

▲三碧　交書交換契約事には深き注意を拂ふべし▲四綠　自我の念おさへ人に然はすば紛事なるべし▲五黃　初めは捗らされど迫々と順調に進み行くべし▲六白　次第に來る幸運を取逃さぬ樣に努力すべし▲七赤　已がほつする所に迫々と近付き來るよろこびの日▲八白　約束事は當てにならぬ日後日にゆづるが安全▲九紫　淸じやうな旨としよく心を去り自然任せば動くべし

藤日曜　新五月　乙巳　負　八日

三月十九日　建　先　危宿

▲一白　次第に順調の日なれど金談絲談面白からず▲二黑　何事も面白く順よく運び行く日常樂尤も吉▲三碧　內を側へば外自から順に走るべし失物注意▲四綠　過分の望みを起きす常樂を勵めば進展あり▲五黃　小發を以て巨利を得る日移動工等も吉し▲六白　橫道に走りて失敗し易き日萬事手控が安全▲七赤　機運可ならず過も退くも不自由を感ずる日▲八白　榮進する日氣心のゆるまぬ樣一致して勵べし▲九紫　苦樂の根ていに動えうを來す日しん重に考慮せよ